

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立がんセンター中央病院
国立がんセンター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	187人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	119人	101.3人	220.3人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	人
歯科医師	1人	人	1.0人	理学療法士	1人	臨床検査技師	44人
薬剤師	15人	10.5人	25.5人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	1人	鍼灸その他の	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	437人	5.2人	442.2人	臨床工学技士	1人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	人	0.7人	0.7人	歯科技工士	人	事務職員	67人
管理栄養士	3人	2.2人	5.2人	診療放射線技師	35人	その他の職員	21人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	536.8人	人	536.8人
1日当たり平均外来患者数	997.6人	3.9人	1001.5人
1日当たり平均調剤数	5,614剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顎面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
肺腫瘍に対する腹腔鏡補助下肺切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	27人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	2人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	人
・多発性硬化症	人	・ウェグナー肉芽腫症	人
・重症筋無力症	2人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	人
・全身性エリテマトーデス	2人	・多系統萎縮症	人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	1人	・膿疱性乾癥	人
・サルコイドーシス	8人	・広範脊柱管狭窄症	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・原発性胆汁性肝硬変	3人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1人	・重症急性胰炎	人
・特発性血小板減少性紫斑病	1人	・特発性大腿骨頭壞死症	人
・結節性動脈周囲炎	人	・混合性結合組織病	人
・潰瘍性大腸炎	3人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガーラー病	人	・網膜色素変性症	人
・天疱瘡	1人	・プリオント病	人
・脊髄小脳変性症	人	・原発性肺高血圧症	人
・クローン病	1人	・神経線維腫症	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・パーキンソン病関連疾患	5人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	1人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦韌帯骨化症	人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	11回／週
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 44 例 剖検率 13.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	森谷 宜皓	国立がんセンター 中央病院	1,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
医療機関がん診療機能の客観的・第三者評価標準システムに関する開発研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	2,250 補 委	厚生労働省 科学研究費
相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	2,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究	島田 安博	国立がんセンター 中央病院	1,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究	清水 研	国立がんセンター 中央病院	2,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究	勝俣 篤之	国立がんセンター 中央病院	5,400 補 委	厚生労働省 科学研究費
がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究	高橋 正秀	国立がんセンター 中央病院	5,500 補 委	厚生労働省 科学研究費
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	田野崎 隆二	国立がんセンター 中央病院	1,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
切除可能脾胆道領域がんに対する補助療法の研究	小菅 智男	国立がんセンター 中央病院	13,860 補 委	厚生労働省 科学研究費
胃上部癌手術における脾合併切除の意義に関する研究	佐野 武	国立がんセンター 中央病院	10,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
限局型小細胞肺がんに対する新たな標準的治療の確立に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	12,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	福田 隆浩	国立がんセンター 中央病院	16,100 補 委	厚生労働省 科学研究費
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	3,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究	森谷 宜皓	国立がんセンター 中央病院	5,500 補 委	厚生労働省 科学研究費
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	24,100 補 委	厚生労働省 科学研究費
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	島田 安博	国立がんセンター 中央病院	2,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	15,100 補 委	厚生労働省 科学研究費
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	18,100 補 委	厚生労働省 科学研究費
進行期難治性B細胞リンパ腫に対する大量化学療法を併用した効果的治療に関する臨床研究	渡辺 隆	国立がんセンター 中央病院	1,500 補 委	厚生労働省 科学研究費
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	勝俣 篤之	国立がんセンター 中央病院	3,300 補 委	厚生労働省 科学研究費
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	河野 勤	国立がんセンター 中央病院	700 補 委	厚生労働省 科学研究費
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	4,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
同種造血幹細胞移植治療の成績向上を目指した包括的臨床研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	8,000 補 委	厚生労働省 科学研究費
アレムツズマブを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のための研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	500 補 委	厚生労働省 科学研究費
造血幹細胞移植におけるドナーの安全性と倫理的保護を確保したコーディネートシステム構築に関する研究	金 成元	国立がんセンター 中央病院	1,913 補 委	厚生労働省 科学研究費

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝子多型検査によるテラーメド疼痛治療法の開発	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 厚生労働省 科学研究費
乳癌患者における抗体療法の効果・副作用規定因子の探索	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	10,458	補委 厚生労働省 科学研究費
がんの高度専門医療施設において研究用に提供される試料及び情報を統合したバイオバンク構築と、その実証的活用に基づくがんの分子解析に関する研究	金井 弥栄	国立がんセンター 中央病院	10,000	補委 厚生労働省 科学研究費
多施設共同研究に登録された白血病の検体収集と中央保存システムの確立	小林 幸夫	国立がんセンター 中央病院	500	補委 厚生労働省 科学研究費
がん診断・治療両用高分子ミセルターゲティングシステム	濱口 哲弥	国立がんセンター 中央病院	2,400	補委 厚生労働省 科学研究費
超早期がんの低侵襲で効果的、正確で安全な診断・治療用微細内視鏡機器装置及びその医療技術の開発に関する研究	小林 寿光	国立がんセンター 中央病院	7,155	補委 厚生労働省 科学研究費
新たな手術用ロボット装置の開発に関する研究	土屋 了介	国立がんセンター 中央病院	8,000	補委 厚生労働省 科学研究費
小児肉腫等に対する治療開発を意図した多施設共同臨床試験に関する研究(H17-チーム(小児)-若手-001)	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	3,396	補委 厚生労働省 科学研究費
がん臨床研究基盤整備の均てん化を目指した個別医療機関基盤モデルの開発	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	76,300	補委 厚生労働省 科学研究費
小児肉腫等に対する治療開発を意図した多施設共同臨床試験に関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	24,000	補委 厚生労働省 科学研究費
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索(H19-臨床試験一般-013)	山崎 直也	国立がんセンター 中央病院	500	補委 厚生労働省 科学研究費
早期乳癌へのラジオ波焼灼療法の安全性および有効性の評価	木下 貴之	国立がんセンター 中央病院	10,000	補委 厚生労働省 科学研究費
転移性骨腫瘍に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	10,000	補委 厚生労働省 科学研究費
利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方との普及に関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	900	補委 厚生労働省 科学研究費
がん治療による副作用の緩和に関する統合医療の研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	7,000	補委 厚生労働省 科学研究費
有害事象に関する薬物動態相互作用に関する研究	山本 弘史	国立がんセンター 中央病院	1,900	補委 厚生労働省 科学研究費
医薬品の使用成績に基づく有効性、安全性の評価方法に関する研究	勝俣 篤之	国立がんセンター 中央病院	400	補委 厚生労働省 科学研究費
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方にに関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	500	補委 厚生労働省 科学研究費
臨床研究の倫理審査委員会登録制度調査に関する研究(H19-特別-指定-017)	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	1,350	補委 厚生労働省 科学研究費
がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	5,550	補委 がん研究助成金
主要がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	浅村 尚生	国立がんセンター 中央病院	12,950	補委 がん研究助成金
肺がんの要因と病態に関する研究	鈴木健司	国立がんセンター 中央病院	700	補委 がん研究助成金
成人病難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
乳がん易感性の診断とそれにに基づく予防に関する研究	北條 隆	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 がん研究助成金
気道食道領域がんのリスクとアルコール代謝酵素との関連性とその臨床評価に関する研究	小田一郎	国立がんセンター 中央病院	800	補委 がん研究助成金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線治療における臨床試験の体系化に関する研究－安全管理と質の管理を含む－	今井 敦	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 がん研究助成金
進行肺・胆道がんに対する標準的全身化学療法の確立に関する研究	奥坂拓志	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委 がん研究助成金
各種がん免疫療法の開発と臨床的有効性の評価に関する研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	6,000	補委 がん研究助成金
低線量CTによる肺がん検診の効率化とその基準の作成に関する研究	土田敬明	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金
良好な視機能保全を目指した眼部悪性腫瘍の新しい集学的治療法の開発	鈴木茂伸	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金
乳房温存療法切除断端の病理診断の標準化と術後観察の適正化に関する研究	明石定子	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
抗悪性腫瘍薬治療を最適化するための臨床薬理学的研究	山本 昇	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 がん研究助成金
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	片井 均	国立がんセンター 中央病院	7,200	補委 がん研究助成金
小児横紋筋肉腫に対する中央病理診断および遺伝子診断にもとづく臨床試験の確立と新規治療開発に関する研究	川井 章	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 がん研究助成金
固形癌の骨髓・末梢血・リンパ節中における転移形成能を有する遊離癌細胞(Isolated Tumor Cell,ITC)の検出とその臨床応用	深川剛生	国立がんセンター 中央病院	4,000	補委 がん研究助成金
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	加賀美 芳和	国立がんセンター 中央病院	7,800	補委 がん研究助成金
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	7,050	補委 がん研究助成金
Stage I 食道がんに対する放射線・抗がん剤併用と手術単独療法の有効性の比較	井垣 弘康	国立がんセンター 中央病院	7,050	補委 がん研究助成金
ヘリコバクター・ピロリ感染による胃発癌機序の解明と感染・再感染予防の研究	後藤田卓志	国立がんセンター 中央病院	800	補委 がん研究助成金
がん治療におけるIVRの技術向上と標準化に関する研究	竹内義人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法に関する研究	笠松高広	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 がん研究助成金
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究	森谷 宣皓	国立がんセンター 中央病院	3,600	補委 がん研究助成金
食道腺癌の高危険群の同定および予防介入試験に関する研究	下田 忠和	国立がんセンター 中央病院	6,050	補委 がん研究助成金
がん患者の支持療法・緩和療法の技術の向上及びその評価に関する研究	下山直人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
胆道悪性腫瘍の至適外科治療選択基準を確立するための術前総合診断能向上を目指した研究	島田 和明	国立がんセンター 中央病院	7,900	補委 がん研究助成金
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究	山崎 直也	国立がんセンター 中央病院	6,500	補委 がん研究助成金
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	飛内賢正	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 がん研究助成金
抗腫瘍抗原ペプチド免疫療法の改良に向けた研究	平家勇司	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 がん研究助成金
がん組織の特異性を利用したドラッグデリバリーシステム(DDS)薬剤の基礎的・臨床的開発に関する研究	濱口 哲弥	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん治療による口腔内合併症の予防法及び治療法の確立に関する研究	浅井昌大	国立がんセンター 中央病院	4,950	補委 がん研究助成金
がん放射線診断における患者被ばくの実態調査と放射線誘発がんリスク推定に関する研究	池田坂	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
局所療法適応外の幹細胞がんに対する経動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	荒井保明	国立がんセンター 中央病院	6,550	補委 がん研究助成金
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	飛内賢正	国立がんセンター 中央病院	6,100	補委 がん研究助成金
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	白尾国昭	国立がんセンター 中央病院	9,800	補委 がん研究助成金
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	渋井壮一郎	国立がんセンター 中央病院	12,900	補委 がん研究助成金
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	藤原康弘	国立がんセンター 中央病院	4,000	補委 がん研究助成金
難治がんの総合的な対策に関する研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	78,933	補委 がん研究助成金
がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化に関する共同研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	11,800	補委 がん研究助成金
がん対策企画と情報発信の方法論に関する研究	若尾文彦	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委 がん研究助成金
がん医療政策提言に向けた研究	藤原康弘	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
		国立がんセンター 中央病院		補委

計 12
合計
112

(注) 1 國、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Surg	Clinicopathological significance of microscopic abscess formation at the invasive margin of advanced rectal cancer.	Shimoda T	Pathology
Br J Surg	Clinicopathological significance of fibrous tissue around fixed recurrent rectal cancer in the pelvis.	Shimoda T	Pathology
Pathol Inter	Two distinct pathways of tumorigenesis of adenocarcinomas of the esophagogastric junction, related or unrelated to intestinal metaplasia.	Shimoda T	Pathology
Histopathology	Distribution and significance of the oesophageal and gastric cardiac mucosa: A study of 131 operation specimens.	Shimoda T	Pathology
Cancer Sci	Epidermal growth factor receptor mutation status and clinicopathological features of combined small cell carcinoma with adenocarcinoma of the lung.	Maeshima AM	Pathology
Radiology	Bone and soft-tissue sarcoma: preoperative staging with fluorine 18 fluorodeoxyglucose PET/CT and conventional imaging.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Neuropathology	Immunohistochemical and gene rearrangement studies of central nervous system lymphomatoid granulomatosis.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Jpn J Clin Oncol	A case of colon cancer detected by carbon-11 choline positron emission tomography/computed tomography: an initial report.	Terauchi T	Diagnostic Radiology
Respirology	Development and validation of diagnostic prediction model for solitary pulmonary nodules.	Tsuta K	Diagnostic Radiology
J Pediatr Hematol Oncol	Accuracy of 18F fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in staging of pediatric sarcomas.	Terauchi T	Diagnostic Radiology
Ann Nucl Med	F-18 FDG PET/CT imaging of low-grade mucoepidermoid carcinoma of the bronchus.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Clin Radiol	Pulmonary arteriovenous fistula arising in a renal cell carcinoma lung metastasis.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Jpn J Clin Oncol	Magnetic resonance screening trial for hepatic metastasis in patients with locally controlled choroidal melanoma.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Eur J Nucl Med Mol Imaging	Non-enhanced CT versus contrast-enhanced CT in integrated PET/CT studies for nodal staging of rectal cancer.	Arai Y	Diagnostic Radiology
AJR Am J Roentgenol	Primary hepatic angiosarcoma on coregistered FDG PET and CT images.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Jpn J Clin Oncol	Unsuspected bone and soft tissue lesions identified at cancer screening using positron emission tomography.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Int J Tuberc Lung Dis	Solitary pulmonary granuloma caused by Mycobacterium avium-intracellulare complex.	Tsuta K	Diagnostic Radiology
Jpn J Clin Oncol	First international symposium of current issues for nationwide survey of primary liver cancer among Korea, Taiwan and Japan.	Takayasu K	Diagnostic Radiology
Hepatol Res	Report of the 17th nationwide follow-up survey of primary liver cancer in Japan.	Takayasu K	Diagnostic Radiology
Tech Vasc Interv Radiol	Percutaneous catheter placement for hepatic arterial infusion chemotherapy.	Arai Y	Diagnostic Radiology

小計20

Cardiovasc Intervent Radiol	Chest wall dissemination of nocardiosis after percutaneous transthoracic needle biopsy.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Clin Radiol	Combination of CT during arterial portography and double-phase CT hepatic arteriography with multi-detector row helical CT for evaluation of hypervasculcar hepatocellular carcinoma.	Tsurusaki M	Diagnostic Radiology
J Magn Reson Imaging	Pancreatic cancer: Correlation of MR findings, clinical features, and tumor grade.	Tsurusaki M	Diagnostic Radiology
Elsevier	Lung carcinoma. In Hayat MA (ed); Cancer Imaging: Lung and breast carcinomas Volume 1.	Arai Y	Diagnostic Radiology
Gastrointest Endosc	Necessity of ruling out cytomegalovirus enteritis in cases of erosions and/or ulcerations diagnosed by video capsule endoscopy after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Gotoda T	Endoscopy
Gastrointest Endosc	Peroral cholangioscopic diagnosis of biliary-tract diseases by using narrow-band imaging (with videos).	Gotoda T	Endoscopy
Gastric Cancer	Endoscopic resection of early gastric cancer.	Gotoda T	Endoscopy
Br J Surg	Gastric perforation during endoscopic resection for gastric carcinoma and the risk of peritoneal dissemination.	Gotoda T	Endoscopy
Gastrointest Endosc	Balloon-catheter-assisted complete endoscopic snare resection for choledochocoele by using double-channel duodenoscope.	Gotoda T	Endoscopy
Br J Cancer	Evaluation of 18F-2 deoxy-2-fluoro-glucose positron emission tomography for gastric cancer screening in asymptomatic individuals undergoing endoscopy.	Hamashima C	Endoscopy
Gastrointest Endosc	A pilot study to assess safety and efficacy of carbon dioxide insufflation during colorectal endoscopic submucosal dissection under conscious sedation.	Saito Y	Endoscopy
Dis Colon Rectum	Minute depressed-type submucosal invasive cancer—5 mm in diameter with intermediate lymph-node metastasis: Report of a case.	Saito Y	Endoscopy
J Gastroenterol Hepatol	Further validation of magnifying chromocolonoscopy to differentiate colorectal neoplastic polyps in a health screening center.	Saito Y	Endoscopy
Gastrointest Endosc	Endoscopic treatment of large superficial colorectal tumors: A cases series of 200 endoscopic submucosal dissections (with video).	Saito Y	Endoscopy
Endoscopy	Determining the treatment strategy for colorectal neoplastic lesions: endoscopic assessment or the non-lifting sign for diagnosing invasion depth?	Saito Y	Endoscopy
Digestive Endoscopy	Successful endoscopic closures of colonic perforations requiring abdominal decompression after endoscopic mucosal resection and endoscopic submucosal dissection for early colon cancer.	Saito Y	Endoscopy
Gastrointest Endosc	Thin endoscope-assisted endoscopic submucosal dissection for large colorectal tumors (with videos).	Saito Y	Endoscopy
Endoscopy	An inverted hyperplastic polyp with a characteristic colonoscopic appearance.	Saito Y	Endoscopy
Jpn J Clin Oncol	Current trends and controversies over pre-operative chemotherapy for women with operable breast cancer	Shimizu C	Breast and Medical Oncology
Jpn J Biomtetrics	The Q-Q plot of p-values for predicting outcomes with the gene expression data.	Fujiwara Y	Breast and Medical Oncology

小計20

Eur Urol	Weekly paclitaxel and carboplatin against advanced urothelial carcinoma after failure of a platinum-based regimen.	Kouno T	Breast and Medical Oncology
Support Care Cancer	The outpatient management of low-risk febrile patients with neutropenia: risk assessment over the telephone.	Shimizu C	Breast and Medical Oncology
Am J Clin Patho	Comparison of evaluations for hormone receptors in breast carcinoma using two manual and three automated immunohistochemical assays.	Shimizu C	Breast and Medical Oncology
Clin Cancer Res	AZD2171 shows potent antitumor activity against gastric cancer over-expressing fibroblast growth factor receptor 2/keratinocyte growth factor receptor.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Clin Cancer Res	CYP2C9 and CYP2C19 polymorphic forms are related to increased indisulam exposure and higher risk of severe hematologic toxicity.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Jpn J Clin Oncol	Significance of biological markers for predicting prognosis and selecting chemotherapy regimens of advanced gastric cancer patients between continuous infusion of 5-FU and a combination of 5-FU and	Shimada Y	Gastrointestinal Oncology
Pathology International	Esophageal squamous cell carcinoma presenting with systemic arterial embolism.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
Br J Cancer	A phase I and pharmacokinetic study of NK105, a paclitaxel-incorporating micellar nanoparticle formulation.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
Pharmacogenet Genomics	Irinotecan pharmacokinetics/pharmacodynamics and UGT1A genetic polymorphisms in Japanese: role of UGT1A1 *6 and *28.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
J Hum Genet	Genetic variations and haplotype structures of the DPYD gene encoding dihydropyrimidine dehydrogenase in Japanese and their ethnic differences.	Kato K	Gastrointestinal Oncology
Ann Oncol	Clinicopathological features of pyothorax-associated lymphoma; a retrospective survey involving 98 patients.	Tobinai K	Hematology
Jpn J Clin Oncol	Primary bone lymphoma: a new and detailed characterization of 28 patients in a single-institution study.	Maruyama D	Hematology
J Clin Oncol	Primary ocular adnexal MALT lymphoma: a long-term follow up study of 114 patients.	Kim S-W	Hematology
Clin Lymphoma and Myeloma	$\gamma\delta$ T-cell large granular lymphocyte leukemia of cord blood donor origin following transplantation for acute myeloid leukemia.	Kim S-W	Hematology
Leuk Res	Ph-positive acute lymphoblastic leukemia after long-term remission of Ph-positive acute myeloid leukemia.	Tobinai K	Hematology
J Clin Oncol	Revised response criteria for malignant lymphoma.	Tobinai K	Hematology
Int Med	Antibody therapy for malignant lymphoma.	Tobinai K	Hematology
Cancer Sci	Phase II study of chemotherapy and stem cell transplantation for adult acute lymphoblastic leukemia or lymphoblastic lymphoma: Japan Clinical Oncology Group Study 9004	Tobinai K	Hematology
J Clin Oncol	Randomized controlled trial of VCAP-AMP-VECP vs. biweekly CHOP in aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma (ATLL): Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG9801.	Tobinai K	Hematology
J Clin Oncol	Proteasome inhibitor, bortezomib, for myeloma and lymphoma.	Tobinai K	Hematology

American Society of Clinical Oncology, Chicago,	Phase I study of vorinostat (oral suberoylanilide hydroxamic acid, SAHA) in patients (pts) with malignant lymphoma (ML) in Japan.	Tobinai K	Hematology
American Society of Clinical Oncology, Chicago,	Dasatinib (SPRYCEL®, BMS-354825) phase-I/-II study of patients with chronic myeloid leukemia (CML) resistant or intolerant to imatinib: results of the CA180031 study in Japan.	Tobinai K	Hematology
Blood	Phase II study of oral fludarabine (FAMP) in combination with rituximab in indolent B-cell non-Hodgkin Lymphoma (B-NHL). Am Soc Hematol, Atlanta, 2007	Tobinai K	Hematology
Blood	Phase I study of KW-0761, a humanized anti-CCR4 antibody, in patients (pts) with relapsed or refractory adult T-cell leukemia-lymphoma (ATLL) and peripheral T-cell lymphoma (PTCL): preliminary results. Am Soc Hematol Atlanta 2007	Tobinai K	Hematology
Blood	Low serum total protein and unfavorable pathological subtype are independent unfavorable factors in peripheral T-cell lymphoma (PTCL) treated in prospective clinical trials; Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 0108A study. Am Soc Hematol, Atlanta,	Tobinai K	Hematology
Blood	High frequency of loss of heterozygosity due to uniparental disomy or allele deletion of in ocular adnexal MALT-type lymphoma. Accepted for poster presentation by Am Soc Hematol, Atlanta, 2007	Kim S-W	Hematology 小計17
Cancer Chemother Pharmacol	A phase II study of weekly irinotecan as first-line therapy for patients with metastatic pancreatic cancer.	Ueno H	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology
Jpn J Clin Oncol	Phase II study of combination chemotherapy with gemcitabine and cisplatin for patients with metastatic pancreatic cancer.	Ueno H	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology
Br J Cancer	Pharmacogenomics of gemcitabine: can genetic studies lead to tailor-made therapy?	Ueno H	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology
Br J Cancer	A phase I trial of S-1 with concurrent radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Kagami Y	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology
J Clin Oncol	Pharmacokinetics of gemcitabine in Japanese cancer patients: The impact of a cytidine deaminase polymorphism.	Okusaka T	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology
J Clin Oncol	Genotype-based methods for anticipating gemcitabine-related severe toxicities may lead to false-negative results.	Okusaka T	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology 小計7
Cancer	Smaller regional volumes of brain gray and white matter demonstrated in breast cancer survivors exposed to adjuvant chemotherapy.	Nakano T	Psycho-Oncology
J Affect Disord	Regional cerebral glucose metabolism in patients with secondary depressive episodes after fatal pancreatic cancer diagnosis.	Nakano T	Psycho-Oncology
J Pain Symptom Manage	First panic attack episodes in head and neck cancer patients who have undergone radical neck surgery.	Shimizu K	Psycho-Oncology
Palliat Support Care	Can psychiatric intervention improve major depression in very near end-of-life cancer patients?	Shimizu K	Psycho-Oncology
Psychooncology	Associated and predictive factors of sleep disturbance in advanced cancer patients.	Shimizu K	Psycho-Oncology
Journal of Palliative Medicine	Barriers to providing palliative care and priorities for future actions to advance palliative care in Japan: a nationwide expert opinion survey.	Shimoyama N	Palliative Care
J Clin Pathol	Utility of immunohistochemical analysis for cyclooxygenase-2 (COX-2) in the differential diagnosis of osteoblastoma and osteosarcoma.	Hosono A	Pediatric Oncology

Ann Oncol	Randomized Phase III Study of Cisplatin plus Irinotecan versus Carboplatin plus Paclitaxel, Cisplatin plus Gemcitabine, and Cisplatin plus Vinorelbine for Advanced Non-Small Cell Lung Cancer: Four-Arm	Tamura T	Thoracic Oncology	小計20
Br J Cancer	How to evaluate the risk/benefit of trimodality in locally advanced non-small cell lung cancer.	Kunitoh H	Thoracic Oncology	
Jpn J Clin Oncol	Phase I Study of Cisplatin Analogue Nedaplatin, Paclitaxel, and Thoracic Radiotherapy for Unresectable Stage III Non-Small Cell Lung Cancer.	Sumi M	Thoracic Oncology	
Tohoku J Exp Med	Problems with registration-directed clinical trials for lung cancer in Japan.	Kunitoh H	Thoracic Oncology	
Jpn J Clin Oncol	Genes regulating the sensitivity of solid tumor cell lines to cytotoxic agents: a literature review.	Tamura T	Thoracic Oncology	
Cancer Sci	Bodyweight change during the first 5 days of chemotherapy as an indicator of cisplatin renal toxicity.	Tamura T	Thoracic Oncology	
Jpn J Clin Oncol	Concurrent Chemoradiotherapy for Limited-disease Small Cell Lung Cancer in Elderly Patients Aged 75 Years or Older.	Sumi M	Thoracic Oncology	
Lung Cancer	Abrogation of the interaction between osteopontin and alphavbeta3 integrin reduces tumor growth of human lung cancer cells in mice.	—	Thoracic Oncology	
Jpn J Clin Oncol	Serum Total Bilirubin as a Predictive Factor for Severe Neutropenia in Lung Cancer Patients Treated with Cisplatin and Irinotecan.	Fujiwara Y	Thoracic Oncology	
Jpn J Clin Oncol	Effect of Platinum Combined with Irinotecan or Paclitaxel against Large Cell Neuroendocrine Carcinoma of the Lung.	Fujiwara Y	Thoracic Oncology	
Clin Cancer Res	Epidermal growth factor receptor mutation detection using high-resolution melting analysis predicts outcomes in patients with advanced non small cell lung cancer	Tsuta K	Thoracic Oncology	
Med Oncol	Prognostic factors for malignant pericardial effusion treated by pericardial drainage in solid-malignancy patients.	Tsuta K	Thoracic Oncology	
Clin Cancer Res	Proteomic Signature Corresponding to the Response to Gefitinib (Iressa, ZD1839), an Epidermal Growth Factor Receptor Tyrosine Kinase Inhibitor in Lung	Tsuta K	Thoracic Oncology	
Drug Metab Pharmacokinet	Genetic Variations and Frequencies of Major Haplotypes in SLCO1B1 Encoding the Transporter OATP1B1 in Japanese Subjects: SLCO1B1*17 is More Prevalent	Kunitoh H	Thoracic Oncology	
Drug Metab Pharmacokinet	Genetic Variations of VDR/NR1I1 Encoding Vitamin D Receptor in a Japanese Population.	Kunitoh H	Thoracic Oncology	
J Proteome Res	Personalized medicine and proteomics: lessons from non-small cell lung cancer.	Nishiwaki Y	Thoracic Oncology	
Br J Cancer	Randomised phase III trial of carboplatin plus etoposide vs split doses of cisplatin plus etoposide in elderly or poor-risk patients with extensive disease small-cell lung	Kunitoh H	Thoracic Oncology	
Pharmacogenetics and Genomics	CYP2C8 haplotype structures and their influence on pharmacokinetics of paclitaxel in a Japanese population.	Saijo N	Thoracic Oncology	
Cancer Sci	Pertuzumab, a novel HER dimerization inhibitor, inhibits the growth of human lung cancer cells mediated by the HER3 signaling pathway.	Tamura T	Thoracic Oncology	
Clin Cancer Res	CYP2C9 and CYP2C19 Polymorphic Forms Are Related to Increased Indisulam Exposure and Higher Risk of Severe Hematologic Toxicity.	Tamura T	Thoracic Oncology	
Cancer Sci	Antibody-dependent cellular cytotoxicity of cetuximab against tumor cells with wild-type or mutant epidermal growth factor receptor.	Tamura T	Thoracic Oncology	

小計20

Drug Metab Dispos	Haplotypes and a novel defective allele of CES2 found in a Japanese population.	Saijo N	Thoracic Oncology
Pharmacogenet Genomics	Irinotecan pharmacokinetics/pharmacodynamics and UGT1A genetic polymorphisms in Japanese: roles of UGT1A1*6 and *28.	Saijo N	Thoracic Oncology
Jpn J Clin Oncol	Initial experience with the quality assurance program of radiation therapy on behalf of Japan Radiation Oncology Group (JAROG).	Kagami Y	Radiation Therapy
Int J Radiat Oncol Biol Phys	A multicenter phase II study of local radiation therapy for stage IEA mucosa-associated lymphoid tissue lymphomas: a preliminary report from the Japan Radiation Oncology Group (JAROG).	Kagami Y	Radiation Therapy
Anticancer Res	Quality assurance of radiotherapy in a clinical trial for lymphoma: individual case review.	Kagami Y	Radiation Therapy
Lung Cancer	Postoperative radiotherapy for non-small-cell lung cancer: results of the 1999–2001 patterns of care study nationwide process survey in Japan.	Sumi M	Radiation Therapy
Anticancer Res	Dummy run for a phase II multi-institute trial of chemoradiotherapy for unresectable pancreatic cancer: inter-observer variance in contour delineation.	Ito Y	Radiation Therapy
Breast Cancer	Sentinel node biopsy is feasible for breast cancer patients after neoadjuvant chemotherapy.	Kinoshita T	Breast Surgery
Breast	Favorable outcome in patients with breast cancer in the presence of pathological response after neoadjuvant endocrine therapy.	Akashi-Tanaka S	Breast Surgery
Breast, Suppl	The prevalence of intrinsic subtype and prognosis in breast cancer patients of different races.	Kinoshita T	Breast Surgery
Breast Cancer	Brain metastases after achieving local pathological complete responses with neoadjuvant chemotherapy.	Akashi-Tanaka S	Breast Surgery
Ann Surg Oncol	Abdominal sacral resection for posterior pelvic recurrence of rectal carcinoma: Analyses of prognostic factors and recurrence patterns.	Yamamoto S	Colorectal Surgery
J Am Coll Surg	Incidence and patterns of recurrence after intersphincteric resection for very low rectal adenocarcinoma.	Yamamoto S	Colorectal Surgery
Arch Surg	Randomized multicenter trial of antibiotic prophylaxis in elective colorectal surgery.	Fujita S	Colorectal Surgery
Anticancer Res	Quantification of CD10 mRNA in colorectal cancer and relationship between mRNA expression and liver Metastasis.	Fujita S	Colorectal Surgery
Dis Colon Rectum	Cancer invasion to Auerbach's plexus is an important prognostic factor in patients with pT3-pT4 colorectal cancer.	Fujita S	Colorectal Surgery
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech	Laparoscopic resection for malignant lymphoma of the ileum causing ileocecal intussusception.	Yamamoto S	Colorectal Surgery
Jpn J Clin Oncol	Isolated right external iliac lymph node recurrence from a primary cecum carcinoma: report of a case.	Yamamoto S	Colorectal Surgery
Dig Surg	Impact of upward lymph node dissection on survival rates in advanced lower rectal carcinoma.	Moriya Y	Colorectal Surgery
Surg Endosc	Wound infection after elective laparoscopic surgery for colorectal carcinoma.	Yamamoto S	Colorectal Surgery

Oncology	Clinical management of EGFR dermatologic toxicities: the Japanese perspective.	Yamazaki N	Dermatology
Ann Surg Oncol	Influence of overweight on surgical complications for gastric cancer: results from a randomized control trial comparing D2 and extended para-aortic D3	Katai H	Gastric Surgery
Br J Surg	Cancer of the gastric stump following distal gastrectomy for cancer.	Fukagawa T	Gastric Surgery
Br J Surg	Tailoring treatments for curable gastric cancer.	Sano T	Gastric Surgery
Dig Surg	Surgical treatment of advanced gastric cancer: Japanese perspective.	Fukagawa T	Gastric Surgery
J Surg Oncol	Favorable indications for hepatectomy in patients with liver metastasis from gastric cancer.	Sano T	Gastric Surgery
Br J Cancer	Identification of the high-risk group for metastasis of gastric cancer cases by vascular endothelial growth factor receptor-1 overexpression in peripheral blood.	Fukagawa T	Gastric Surgery
Pathol Int	Two distinct pathways of tumorigenesis of adenocarcinomas of the esophagogastric junction, related or unrelated to intestinal metaplasia.	Shimoda T	Gastric Surgery
Jpn J Clin Oncol	Risk factors for para-aortic lymph node metastasis of gastric cancer from a randomized controlled trial of JCOG9501.	Yamamoto S	Gastric Surgery
Gastric Cancer	Symptom evaluation of long-term postoperative outcomes after pylorus-preserving gastrectomy or early gastric cancer.	Saka M	Gastric Surgery
Int J Clin Oncol	Billroth 1 versus Roux-en-Y reconstructions: a quality-of-life survey at 5 years.	Saka M	Gastric Surgery
Jpn J Clin Oncol	Struma ovarii associated with Meigs syndrome.	Sawada M	Gynecology
Jpn J Clin Oncol	A case of advanced endometrial cancer metastasizing to the recto-vagina A case of advanced endometrial cancer metastasizing to the recto-vaginal space.	Sawada M	Gynecology
Jpn J Clin Oncol	A case of two-humped hydrometra with a recurrent uterine cervical cancer.	Sawada M	Gynecology
Cancer Lett	Increased expression of DNA methyltransferase 1 (DNMT1) protein in uterine cervix squamous cell carcinoma and its precursor lesion.	Sawada M	Gynecology
Int J Gynecol Obstet	Surgical treatment for neuroendocrine carcinoma of the uterine cervix.	Kasamatsu T	Gynecology
Cancer Res	Promoter hypermethylation contributes to frequent inactivation of a putative conditional tumor suppressor gene connective tissue growth factor in ovarian cancer.	Kasamatsu T	Gynecology
J Cancer Surg	Immediately maxillary reconstruction after malignant tumor extirpation.	Sakuraba M	Head & Neck Surgery, Plastic Surgery and
J Surg Oncology	Surgical management of carcinoma of the cervical esophagus.	Saikawa M	Head & Neck Surgery, Plastic Surgery and
Jpn J Clin Oncol	A case of endocrine cell carcinoma of the gallbladder.	Kosuge T	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery

Jpn J Clin Oncol	A case of cholangiocarcinoma mimicking inflammatory pseudotumor.	Sakamoto Y	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
World J Surg	Surgical outcomes of the mass-forming plus periductal infiltrating types of intrahepatic cholangiocarcinoma: A comparative study with the typical mass-forming type of intrahepatic cholangiocarcinoma.	Shimada K	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery Mediastinum
J Surg Oncol	Clinical impact of the surgical margin status in hepatectomy for solitary mass-forming type intrahepatic cholangiocarcinoma without lymph node metastasis.	Shimada K	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
Ann Surg Oncol	Analysis of prognostic factors affecting survival after initial recurrence and treatment efficacy for recurrence in patients undergoing potentially curative hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Shimada K	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery Mediastinum
Surg Today	Spontaneous regression of inflammatory pseudotumor of the liver; report of 3 cases.	Sakamoto Y	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
Jpn J Clin Oncol	Effectiveness of hepatic resection for early-stage hepatocellular carcinoma arising in cirrhosis: subgroup analysis according to Milan criteria.	Kosuge T	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
J Am Coll Surg	Wrapping the stump of the gastroduodenal artery using the falciform ligament during pancreaticoduodenectomy.	Sakamoto Y	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
J Surg Oncol	Favorable indications for hepatectomy in patients with liver metastasis from gastric cancer.	Sakamoto Y	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Changing trends in surgical outcomes after major hepatobiliary resection for hilar cholangiocarcinoma: a single-center experience over 25 years.	Shimada K	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
Jpn J Clin Oncol	Surgery for hepatic neuroendocrine tumors: a single institutional experience in Japan.	Sakamoto Y	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
Arch Surg	Simplified staging system for predicting the prognosis of patients with resectable liver metastasis: development and validation.	Kosuge T	Hepatobiliary and Pancreatic Surgery
J Cancer Res Clin Oncol	Prediction of response and prognostic factors for Ewing family of tumors in a low incidence population.	Nakatani F	Orthopedic Surgery
Skeletal Radiol	Solitary intramuscular myxoma with monostotic fibrous dysplasia as a rare variant of Mazabraud's syndrome.	Kawai A	Orthopedic Surgery
Cancer	Clear cell sarcoma of tendons and aponeuroses: a study of 75 patients.	Kawai A	Orthopedic Surgery
Cancer	Clinical outcome of patients with Ewing sarcoma family of tumors of bone in Japan: the Japanese Musculoskeletal Oncology Group cooperative study.	Kawai A	Orthopedic Surgery
Am J Surg Pathol	Dysadherin expression as a significant prognostic factor and as a determinant of histologic features in synovial sarcoma: special reference to its inverse relationship with E-cadherin expression.	Kawai A	Orthopedic Surgery
Int J Oncol	The mechanism of cross-resistance to proteasome inhibitor bortezomib and overcoming in Ewing's family tumor cells.	Nakatani F	Orthopedic Surgery
Jpn J Clin Oncol	A case of synovial chondromatosis involving the iliopsoas muscle.	Nakatani F	Orthopedic Surgery
Cancer Sci	Gene expression profiling of epidermal growth factor receptor/KRAS pathway activation in lung adenocarcinoma.	Hirohashi S	Thoracic Surgery
Int J Tuberc Lung Dis	Solitary pulmonary Granuloma caused by Mycobacterium avium-intracellulare complex.	Asamura H	Thoracic Surgery

小計20

Hepatogastroenterology	Surgical treatment of pulmonary metastasis from hepatocellular carcinoma.	Asamura H	Thoracic Surgery
Surg Today	Successful resection of hepatocellular carcinoma with bronchobiliary fistula caused by repeated transcatheter arterial embolizations: report of a case.	Asamura H	Thoracic Surgery
Biochem Biophys Res Commun	Sensitive detection of FGFR3 mutations in bladder cancer and urine sediments by peptide nucleic acid-mediated real-time PCR clamping.	Fujimoto H	Urology

小計163

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究	斎藤 豊	国立がんセンター 中央病院	28,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの構築	成田 善孝	国立がんセンター 中央病院	41,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究	角 美奈子	国立がんセンター 中央病院	22,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	15,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	7,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究	金子 昌弘	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	18,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	日月 裕司	国立がんセンター 中央病院	3,600	補委 厚生労働省 がん研究助成金
頭頸部がんの頸部リンパ節転移に対する標準的手術法の確立に関する研究	浅井 昌大	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	小林 幸夫	国立がんセンター 中央病院	600	補委 厚生労働省 がん研究助成金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的療法の確立に関する研究	藤元 博行	国立がんセンター 中央病院	300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	浅井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	14,800	補委 厚生労働省 がん研究助成金
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	中馬 広一	国立がんセンター 中央病院	1,800	補委 厚生労働省 がん研究助成金
第IV期食道がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	加藤 健	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
切除不能III期非小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	大江 裕一郎	国立がんセンター 中央病院	2,600	補委 厚生労働省 科学研究費
子宮体がんに対する標準的化学療法の確立に関する研究	勝俣 篤之	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 科学研究費
臨床病期Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	16,500	補委 厚生労働省 科学研究費
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究	伊藤 芳紀	国立がんセンター 中央病院	800	補委 厚生労働省 科学研究費
症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究	浅村 尚生	国立がんセンター 中央病院	700	補委 厚生労働省 科学研究費
症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステム開発とコストに関する研究	小菅 智男	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 科学研究費
悪性胸膜中皮腫の病態の把握と診断法、治療法の確立に関する研究	浅村 尚生	国立がんセンター 中央病院	10,500	補委 厚生労働省 科学研究費
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	浅井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 科学研究費
再発小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 科学研究費
進行・再発子宮頸癌に対する標準的治療体系の確立に関する研究	笠松 高弘	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 科学研究費

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	総長 廣橋 説雄
管理担当者氏名	庶務第一課長 新井 秀一・医事第一課長 朝日 高子 薬剤部長 山本 浩史

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	庶務第一課・医事第一課	カルテ、エックス線写真とも入院、外来を含め一患者一ファイル方式として管理している。(1)診療録等は永久保存 (2)内視鏡フィルム、10年 (3)フィルム(内視鏡フィルムは除く)5年 (4)病理、細胞診プレパラート20年
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務第一課	
	高度の医療の提供の実績	医事第一課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	がん対策企画課	
	高度の医療の研修の実績	がん対策企画課	
	閲覧実績	医事第一課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事第一課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事第一課・薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第11条の各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営局長
閲覧担当者氏名	庶務第一課長 新井 秀一 ・ 医事第一課長 朝日 高子
閲覧の求めに応じる場所	庶務第一課及び医事第一課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0件
閲 覧 者 別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地 方 公 共 団 体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	99.7 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数 D : 初診の患者の数		8,634人 7,066人 411人 9,175人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名) ・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・無
・ 所属職員： 専任（ 1 ）名 兼任（ 71 ）名・・・ただし、院長除き副院长含む ・ 活動の主な内容：医療安全管理に関する情報収集・情報提供 インシデント・アクシデント実態把握・分析・再発防止対策の立案・広報 医療安全に関する職員教育	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・無
・ 指針の主な内容：医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供を行うことを目的とし、医療安全管理規程を定め、医療安全管理委員会・検証作業部会を設置している。各診療グループ・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを置き、医療事故等事例の報告内容の把握・検討等を行い、再発防止に努めることとしている。また、医療安全管理の要点と対策をまとめた「医療安全対策マニュアル」を作成し、その中でも特に確認の必要なポイントについては「医療安全ポケットマニュアル」に簡潔にまとめ、職員はこれを常に携帯し、業務を行うこととしている。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：検証作業部会において、報告される医療事故等事例について、原因分析や再発防止対策を検討している。部会より医療安全管理委員会に報告後、決定事項を医療安全管理者から各部署の医療安全推進担当者に伝達し、所属職員に伝達・周知徹底を図っている。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容：外部講師による、当院の医療安全体制の向上のための講演会 ・ 終末期患者への医療を考える講演会 ・ 外部講師によるメンタルヘルスに関する講演会 ・ インシデント報告事例をもとにした安全対策研修「ひやりはっと劇場」 2回 ・ 救急蘇生トレーニング 3回	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内メールによる緊急対策の周知 ・ 医療安全推進担当者連絡会での報告・伝達・周知 ・ 広報誌の発行 ・ 職員全員参加の研修会の実施	(有) ・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無																																				
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容：当院における院内感染防止し、良質な医療を提供することを目的とし、院内感染対策委員会および院内感染対策専門部会（感染対策チーム：I C T）、院内感染対策リンクナース会等を設置し、院内感染発生状況の把握、院内感染サーベイランスの実施、各部署巡回、抗菌薬適正使用の指導と監視、I C DおよびI C Nによるコンサルテーション、教育、院内感染防止対策マニュアルの作成・改訂などニュース等を発行しての情報伝達を行い、院内感染防止の強化充実が図れるようしている。 																																					
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回																																				
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容：院内感染対策委員会では、下部組織で実践活動を行っている感染対策チーム（I C T）からの報告を受け、諮問やI C Tの支援・指導および評価を行っている。 決定事項に関しては、院内感染対策専任者から所属職員およびO C Tメンバーを通して周知徹底を行っている。 																																					
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10回																																				
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容</th><th>対象職種</th><th>参加人数</th><th>実施年月日・時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抗菌薬の使い方</td><td>看護師</td><td>44人</td><td>平成19年3月23日 1時間</td></tr> <tr> <td>感染対策の基本 (新採用者オリエンテーション)</td><td>新採用者</td><td>72人</td><td>平成19年4月2日 1時間</td></tr> <tr> <td>感染対策の基本・感染管理</td><td>臨床検査 薬剤部</td><td>48人</td><td>平成19年5月11日 1時間</td></tr> <tr> <td>院内感染対策講習</td><td>委託清掃</td><td>37人</td><td>平成19年6月8日 1時間</td></tr> <tr> <td>手洗いトレーニング</td><td>委託清掃</td><td>35人</td><td>平成19年7月3日 1時間</td></tr> <tr> <td>看護助手研修（感染管理）</td><td>看護助手</td><td>27人</td><td>平成19年7月7日 1時間</td></tr> <tr> <td>感染対策の基本</td><td>中途採用</td><td>126人</td><td>平成19年7月27日 1時間</td></tr> <tr> <td>SSIサーベイランスに基づいた周術期感染対策</td><td>医療職全般</td><td>417人</td><td>平成19年10月9日</td></tr> </tbody> </table>		研修内容	対象職種	参加人数	実施年月日・時間	抗菌薬の使い方	看護師	44人	平成19年3月23日 1時間	感染対策の基本 (新採用者オリエンテーション)	新採用者	72人	平成19年4月2日 1時間	感染対策の基本・感染管理	臨床検査 薬剤部	48人	平成19年5月11日 1時間	院内感染対策講習	委託清掃	37人	平成19年6月8日 1時間	手洗いトレーニング	委託清掃	35人	平成19年7月3日 1時間	看護助手研修（感染管理）	看護助手	27人	平成19年7月7日 1時間	感染対策の基本	中途採用	126人	平成19年7月27日 1時間	SSIサーベイランスに基づいた周術期感染対策	医療職全般	417人	平成19年10月9日
研修内容	対象職種	参加人数	実施年月日・時間																																		
抗菌薬の使い方	看護師	44人	平成19年3月23日 1時間																																		
感染対策の基本 (新採用者オリエンテーション)	新採用者	72人	平成19年4月2日 1時間																																		
感染対策の基本・感染管理	臨床検査 薬剤部	48人	平成19年5月11日 1時間																																		
院内感染対策講習	委託清掃	37人	平成19年6月8日 1時間																																		
手洗いトレーニング	委託清掃	35人	平成19年7月3日 1時間																																		
看護助手研修（感染管理）	看護助手	27人	平成19年7月7日 1時間																																		
感染対策の基本	中途採用	126人	平成19年7月27日 1時間																																		
SSIサーベイランスに基づいた周術期感染対策	医療職全般	417人	平成19年10月9日																																		

			1時間	
院内感染発生時の対応	看護師	17人	平成19年10月16日 1.5時間	
院内感染を引き起こす危険な職員	事務・看護助手 ・中途採用者	300人	平成19年12月10日 1時間	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

特定抗菌薬届出のシステム化、感染症マップ活用による病棟内感染症患者把握、
外来にて在宅患者専用の感染性廃棄物容器の設置、採痰ブースの設置、
病棟における面会者等の手指消毒表示の統一、防護用具設置の統一 等。

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 転倒・転落の防止と睡眠薬について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有)・無) 業務の主な内容：医薬品の採用購入、医薬品の管理、調剤、薬剤管理指導、医薬品情報管理、他医療機関との連携、業務手順の確認、研修 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 入院患者内服薬自己管理フローチャートの作成 病棟等における標準常備薬定数の策定 転倒転落予防の観点からみた睡眠薬使用基準の策定 レジメン処方（抗ガン剤溶解液）の標準化 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容	
PCA ポンプの取扱 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱上の注意(新入職看護師向け) 人工呼吸器の基礎知識 モニター混線について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容: 特定機能病院に関しては、臨床工学士管理の下、日常点検、使用前点検、定期点検を行っている。 病棟の医療機器は、管理部署の看護師が日常点検を行い、臨床工学士による定期点検、メーカーによる定期点検を行う等連携をとっている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容: 各種医療機器の稼働率調査、日常点検チェックシートの作成、 臨床工学士による定期点検の実施・点検状況の把握、 各機器の添付文書・取扱説明書の整備、医療機器安全ニュースの発行(不定期)、 修理・故障報告書の作成・管理、使用マニュアルの作成	